

第7期町田市介護保険事業計画 2020年度 進捗状況評価結果

<目次>

1 主な取組の進捗評価結果一覧	1
2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果	1
3 主な取組の進捗評価結果(詳細)	2
基本目標 1 地域の支え合いでいきいきと暮らしている	2
基本施策1 地域ネットワークの充実	2
基本施策2 地域の支え合いと介護予防の推進	4
基本目標2 支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている	7
基本施策3 認知症の人にやさしい地域づくりの推進	7
基本施策4 在宅療養を支える医療・介護連携の推進	9
基本施策5 在宅高齢者とその家族の生活の質の向上	10
基本目標3 よりよい介護保険サービスを適切に利用できている	12
基本施策6 介護保険サービスの基盤整備	12
基本施策7 介護保険サービスの質の向上と適正化	13

第7期町田市介護保険事業計画 2020年度進捗状況評価結果について

1 主な取組の進捗評価結果一覧

基本目標	基本施策	取組の柱	主な取組	進捗評価	
1	1	(1)高齢者支援センターの機能の充実【重点】	① 高齢者支援センターの事業評価の充実 ② 地域ケア会議の役割の明確化	○ ○	
		(2)地域ネットワークづくりの強化	① 高齢者見守りネットワークの普及	○	
		(3)緊急時等の地域連携機能の強化	① 災害時の体制の整備・充実	○	
	2	(1)介護予防・生活支援サービスの創出【重点】	① 支え合い連絡会	○	
			② 地域活動団体型サービス	◎	
			③ 市基準型サービス	○	
		(2)自立支援・重度化防止に向けた取組	① 介護予防ケアマネジメント	△	
			② 短期集中型サービス	○	
			③ 地域介護予防自主グループ支援	◎	
	(3)地域における介護予防の場づくり	② 町田を元気にするトレーニング(1町トレ)	◎		
③ いぎいぎポイント制度		○			
④ 介護予防サポーター養成事業		◎			
⑤ 介護予防の普及啓発		○			
⑥ 認知症の人やその家族の居場所づくり		○			
2	3	(1)認知症の人やその家族の視点を重視した取組の推進【重点】	② 認知症サポーター養成講座事業 ③ 行方不明高齢者家族支援サービス事業	○ ○	
		(2)認知症早期対応・受診の支援の充実	① 認知症早期受診支援 ② 認知症相談支援	○ △	
	4	(1)医療・介護連携の推進【重点】	① 医療・介護連携の推進	○	
		(2)在宅高齢者とその家族への支援の推進	① 家族介護者教室・家族介護者交流会の開催 ② 高齢者あんしんキーホルダー事業	○ △	
	5	(1)在宅密着型サービスの整備促進【重点】	① 在宅改修研修会の開催	○	
		(2)在宅継続に向けた居住環境改善の支援	② 高齢者住宅対策設備改修給付事業 ③ 住宅改修アドバイザー派遣事業	△ △	
	3	6	(1)介護人材の育成、確保、定着【重点】	① 介護保険施設等の整備 ② 介護人材開発事業の強化 ③ 多様な担い手の地域活躍推進	△ ○ ○
			(2)介護保険サービスの品質向上(事業所支援)	① 要介護度改善に伴うインセンティブ事業 ② 介護相談員派遣事業 ③ 福祉サービス第三者評価受審助成等事業 ④ 相談援助研修	△ ○ ○ ○
			(3)適切な介護保険サービスの利用推進	① 介護保険サービスの適正化事業の推進 ② 認定調査員への支援 ③ 介護保険事業者に対する指導・助言 ④ 介護保険制度の周知	○ ○ ○ ○

2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果

「◎(計画以上に進んでいる)」が10.5%(取組数:4)、「○(計画どおり進んでいる)」が68.4%(取組数:26)で、計78.9%(取組数:30)の取組が計画以上、または計画どおりに進捗しています。各指標の実績をみると、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により低下の傾向が見られますが、全体としては概ね計画どおり進んでいます。

基本目標	基本施策	進捗評価の構成割合		
		◎	○	△
1	地域の支え合いでいきいきと暮らしている	28.6%	64.3%	7.1%
	1 地域ネットワークの充実	0.0%	100.0%	0.0%
2	2 地域の支え合いと介護予防の推進	40.0%	50.0%	10.0%
	支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている	0.0%	63.6%	36.4%
	3 認知症の人にやさしい地域づくりの推進	0.0%	80.0%	20.0%
	4 在宅療養を支える医療・介護連携の推進	0.0%	100.0%	0.0%
	5 在宅高齢者とその家族の生活の質の向上	0.0%	40.0%	60.0%
3	よりよい介護保険サービスを適切に利用できている	0.0%	84.6%	15.4%
	6 介護保険サービスの基盤整備	0.0%	50.0%	50.0%
	7 介護保険サービスの質の向上と適正化	0.0%	90.9%	9.1%
合計		10.5%	71.1%	18.4%

<凡例>

- ◎・・・計画以上に進んでいる
- ・・・計画どおり進んでいる
- △・・・計画どおり進んでいない

3 主な取組の進捗評価結果(詳細)

基本目標 1	地域の支え合いでいきいきと暮らしている
基本施策 1	地域ネットワークの充実

取組の柱(1) 高齢者支援センターの機能の充実【重点】

計画書p.48

主な取組①		高齢者支援センターの事業評価の充実	
評価	指標	-	進捗評価
		目標値	実績値
	2018年度	継続	継続
	2019年度		継続
	2020年度		継続
2020年度の具体的な取組・成果		<p>・全国統一指標による事業評価と市独自の事業評価を併せて実施しました。</p> <p>・市独自の評価では、業務の更なる質の向上につなげるため、今年度から評価項目を見直して実施しました。各高齢者支援センターに対してヒアリングを実施し、仕様書に基づいた業務の実施状況及び、支援センターごとに作成した事業計画の進捗と達成度について確認しました。</p>	
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、全国統一指標による事業評価と市独自の事業評価を実施します。</p>	
主な取組②		地域ケア会議の役割の明確化及び内容の充実	
評価	指標	-	進捗評価
		目標値	実績値
	2018年度	拡充	拡充
	2019年度		拡充
	2020年度		拡充
2020年度の具体的な取組・成果		<p>・地域ケア会議運営ガイドラインに沿って、地域ケア推進会議を開催し、地域の課題抽出・検討を行いました。</p> <p>・また、在宅医療・介護連携に関する地域ケア推進会議については、4月に開設した医療と介護の連携支援センターが開催支援を行いました。</p>	
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、より効果的な地域ケア推進会議の開催ができるように、地域ケア会議運営ガイドラインの見直しや医療と介護の連携支援センターによる開催支援を進めます。</p>	

取組の柱(2) 地域ネットワークづくりの強化

計画書p.49

主な取組①		高齢者見守りネットワークの普及	
評価	指標	高齢者見守りネットワーク実施の町内会・自治会数(累計)	進捗評価
		目標値	実績値
	2018年度	54ヶ所	56ヶ所
	2019年度	56ヶ所	57ヶ所
	2020年度	58ヶ所	59ヶ所(見込)
2020年度の具体的な取組・成果		<p>・新たに町内会・自治会で見守り支援ネットワークを2つ構築し、累計として59の町内会・自治会で見守りが実施されています。</p> <p>・市民に見守りの普及啓発を図るため、高齢者見守り普及啓発講座を32回実施しました。新型コロナウイルス感染症により講座の開催方法が限定される中、今年度から取り入れた30分の「ミニ講座」を活用し、感染対策を行いながら事業を継続しました。(ミニ講座29回・レギュラー講座3回)</p>	
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、見守り活動を実施している町内会自治会への支援を行うとともに、地域で様々な取組を行っている自主グループにも普及啓発を行い、地域での見守りの目を広げていきます。</p>	

主な取組①		災害時の体制の整備・充実		
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度	↓	継続	○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内介護保険事業所等との災害時の連携強化に向けては、介護保険事業所等災害時情報伝達マニュアルを改定し、市内の介護保険事業所等と協働で災害時情報伝達訓練を実施しました。 ・災害時に特に配慮が必要な高齢者等の避難先の確保に向けては、二次避難施設の拡充のため、協定締結基準を見直し、広く対象施設へ周知の上、協定締結希望施設を募集しました。これにより、協定締結施設が2施設増加する見込みです。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度に改定した介護保険事業所等災害時情報伝達マニュアルを検証し、必要に応じ見直しを行う必要があります。 ・災害時に特に配慮が必要な高齢者等の避難先は依然として不足しており、引き続き協定施設拡大に向け取り組んでいく必要があります。 			

基本目標 1	地域の支え合いでいきいきと暮らしている
基本施策 2	地域の支え合いと介護予防の推進

取組の柱(1) 介護予防・生活支援サービスの創出【重点】

計画書p.51

主な取組①		支え合い連絡会		
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度		継続	○
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市全域での「町田市支え合い連絡会」を2回、「町田市支えあい連絡会移動支援分会」を2回実施し、地域課題について検討しました。 ・12高齢者支援センターで、地域課題の把握や解決を目的とした「支え合い連絡会」を計47回(10月末時点)実施しました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援については、市内の事業所やボランティア等と協力して取り組みをすすめていきます。 ・12か所の高齢者支援センターで把握された地域課題のうち、地域で解決可能な課題について、取り組みを進めます。 		
主な取組②		地域活動団体型サービス		
評価	指標	地域活動団体型サービス実施団体数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	44団体	71団体	◎
	2019年度	49団体	77団体	◎
	2020年度	54団体	77団体	◎
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度まで「介護予防・生活支援サービス事業」の通所型サービスである「地域活動団体型サービス」として実施していましたが、2020年度から「一般介護予防事業」である「まちだ互近助クラブ」として実施しました。 ・77団体(登録のみ18団体、補助金申請59団体)が登録に至りました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターの取り組みを中心に、実施団体の発掘や、育成を行います。 ・新型コロナウイルスの感染状況に応じ、適切な対応をしていく必要があります。 		
主な取組③		市基準型サービス		
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	拡充	拡充	◎
	2019年度		拡充	○
	2020年度		拡充	○
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市基準型サービスの事業所数は、2020年4月1日時点で、通所型33、訪問型39でしたが、2021年4月1日時点では、通所型31、訪問型39となりました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、事業所の指定を行うとともに、利用者に対し、利用促進を図っていきます。 		

取組の柱(2) 自立支援・重度化防止に向けた取組

計画書p.52

主な取組① 介護予防ケアマネジメント				
評価	指標	介護予防ケアマネジメントに関する地域ケア個別会議実施		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	市モデル実施	モデル会議実施	○
	2019年度	市と高齢者支援センターが実施	市と高齢者支援センターで協働実施	○
	2020年度	委託事業所(居宅介護支援事業所)も実施	高齢者支援センターが実施	△
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援センター主催により、会議を全8回(17事例)実施しました。 ・取組の推進に向け、アドバイザーの追加募集をし、新しく1名のアドバイザーの養成を行いました。 ・これまでの会議のフィードバックと次年度開催に向けた改善点の確認を目的とした研修会を実施し、アドバイザーや高齢者支援センター職員と情報共有を図りました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点より、居宅介護支援事業所の参加を見送ったため、2021年度は、地域の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが傍聴できる体制を整備し、取組の推進を図ります。 		

主な取組② 短期集中型サービス				
評価	指標	目標達成率		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	0.75	0.76	○
	2019年度		0.776	○
	2020年度		77.7%	○
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4～6月までIADL向上教室の開催を中止しました。7月から再開し、市内5圏域で6教室を実施しました。 ・利用者は27名で、2021年1月時点で評価票が提出されている9名のうち、7名が3か月の運動トレーニングを通して、生活機能の維持・改善に向けた目標を達成しました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった期間に申込された方へのフォローを行います。引き続き、リハビリテーション専門職と連携し、サービスの質の向上に向けた取組みを推進することで目標の達成率の向上(利用者の生活の質の向上)に繋がります。 		

取組の柱(3) 地域における介護予防の場づくり

計画書p.53

主な取組① 地域介護予防自主グループ支援				
評価	指標	介護予防に資する活動団体数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	256団体	294団体	◎
	2019年度	262団体	306団体	◎
	2020年度	268団体	318団体	◎
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援センターにおいて、地域介護予防教室終了後3団体の自主グループが立ち上がりました。 ・上記の新規団体に加え、既に活動をしている9団体が介護予防に資する活動団体として高齢者支援センターに登録され、計12団体の増加となりました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、自主グループの立ち上げや活動継続を支援していきます。 ・新型コロナウイルスの感染状況により、新規グループの立ち上げ及び既存グループの活動継続に困難が生じる場合は、状況に合わせたアドバイスや代替案の提示などの対応を進めます。 		

主な取組② 町田を元気にするトレーニング(「町トレ」)				
評価	指標	「町トレ」のグループ数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	72団体	119団体	◎
	2019年度	84団体	155団体	◎
	2020年度	96団体	164団体(見込)	◎
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・住民向けのプレゼンテーションの実施等での周知活動を行いました。また、グループの立ち上げを希望する住民団体に対して立ち上げ支援(スタート応援講座)を実施し、新しく9団体(見込)が立ち上がりました。 ・町トレを実施している各団体へ継続支援を行いました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き町トレの周知に努め、希望する住民団体に対して立ち上げ支援及び継続支援を行います。 ・新型コロナウイルスの感染状況により、新規グループの立ち上げ及び既存グループの活動継続に困難が生じる場合は、状況に合わせたアドバイスや代替案の提示などの対応を進めます。 		

主な取組③		いきいきポイント制度				
評価	指標	登録者数、活動場所数			進捗評価	
		目標値		実績値		
	2018年度	2,100人 242ヶ所		2,080人 243ヶ所		△
	2019年度	2,200人 247ヶ所		2,169人 245ヶ所		△
	2020年度	2,300人 252ヶ所		①2,260人 ②245ヶ所		○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新規登録研修会を年間で16回(見込み)実施し、新たに138名(見込み)が登録しました。新規登録施設は8施設となりました。新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの施設でボランティアの受け入れを中止しており、登録者数・登録施設数ともに例年より伸び悩みました。 ・登録者向けに、今後の活動促進を目的とした研修会を1回実施しました。 					
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の周知等を実施し、引き続き、高齢者のさらなる地域貢献活動・社会参加を推進します。 ・新型コロナウイルスの感染状況に応じ、適切な対応をしていく必要があります。 					
主な取組④		介護予防サポーター養成事業				
評価	指標	介護予防サポーター養成講座の修了者数(累計)			進捗評価	
		目標値		実績値		
	2018年度	935人		982人		◎
	2019年度	975人		1054人		◎
	2020年度	1,015人		1,077人		◎
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・養成講座を2期開催し、新たに23名の方が修了しました。 					
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き養成講座を開催し、地域で介護予防の普及啓発ができる人材を養成します。 ・新型コロナウイルスの感染状況に応じ、対策を講じた上で講座を開催するとともに、修了後の活動方法等について支援やアドバイスをを行います。 					
主な取組⑤		介護予防の普及啓発				
評価	指標	-			進捗評価	
		目標値		実績値		
	2018年度	継続		継続		○
	2019年度	↓		継続		○
	2020年度	↓		継続		○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合健康づくり月間」において、フレイル予防の普及啓発を行いました。 ・「FC町田ゼルビア」と協働し、自宅でできる筋力トレーニングの動画を作成し、フレイル予防の普及啓発を行いました。 ・介護予防月間地域型イベントを各高齢者支援センターで実施しました。(15回、延べ353名参加) ・介護予防に関する講演会を実施しました。(2回、197名参加) 					
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、市民の方が介護予防への関心や意識を高め、ご自身や地域の健康づくりに楽しみながら取り組んでいただけるように、各種イベントでのPRや広報媒体等を活用した情報発信を推進します。 ・新型コロナウイルスの感染状況に応じ、適切な対応をしていく必要があります。 					

基本目標 2	支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている
基本施策 3	認知症の人にやさしい地域づくりの推進

取組の柱(1) 認知症の人やその家族の視点を重視した取組の推進【重点】

計画書p.57

主な取組①		認知症の人やその家族の居場所づくり		進捗評価
評価	指標	-		
		目標値	実績値	
	2018年度	拡充	拡充	○
	2019年度		拡充	○
	2020年度		継続	○
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けの認知症普及啓発を目的とした冊子を作成しました。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、認知症カフェの開催を中止し、オンラインでの認知症カフェを試行しました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ、認知症カフェの再開を検討していきますが、オンラインによる開催など、コロナ禍に対応した認知症カフェの在り方も検討していきます。 ・引き続き、認知症の人やその家族の視点を重視した取組を推進していきます。 		
主な取組②		認知症サポーター養成講座事業		進捗評価
評価	指標	養成講座の累計受講者数		
		目標値	実績値	
	2018年度	26,000人	27,443人	○
	2019年度	28,800人	30,955人	○
	2020年度	31,600人	32,003人(見込)	○
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座を54回開催し、計1,048人が受講しました。 ・認知症サポーターの理解をさらに深めるための認知症サポーターステップアップ講座を2回実施し、33人が受講しました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症についての普及啓発を進めていきます。 		
主な取組③		行方不明高齢者家族支援サービス事業		進捗評価
評価	指標	行方不明高齢者家族支援サービス利用者数		
		目標値	実績値	
	2018年度	75人	83人	○
	2019年度	80人	87人	○
	2020年度	85人	102人(見込)	○
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等で事業の周知をするとともに、行方不明となったことがある高齢者の家族に対して事業案内を行い、利用促進を図りました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、行方不明高齢者家族支援サービス事業の周知を行い、利用促進を図っていきます。 		

主な取組① 認知症早期受診支援				
評価	指標	認知症初期集中支援チームが訪問した対象者のうち、適切な診断に繋がった対象の割合		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	30%以上	50.0%	○
	2019年度		64.2%	○
	2020年度	↓	63.6%(見込)	○
2020年度の具体的な取組・成果	・認知症が疑われる11名を支援チームで訪問し、そのうち7名が受診に繋がりました。また、認知症初期集中支援チームガイドラインに、チーム員が活動する上で参考となるよう活動事例を追加掲載するなどの改訂を行いました。			
課題および今後の方向性	・引き続き、かかりつけ医や地域の医療機関と連携を図るとともに、訪問継続中の方を受診に繋げる支援を行います。			
主な取組② 認知症相談支援				
評価	指標	電話相談件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	350件	165件	△
	2019年度		232件	△
	2020年度	↓	163件(見込)	△
2020年度の具体的な取組・成果	・認知症の専門相談窓口における電話相談は163件でした。また、高齢者支援センターで実施する医師による相談は183件、臨床心理士による相談は141件でした。			
課題および今後の方向性	・引き続き、認知症の方やその介護者に対する相談対応を行います。			

基本目標 2	支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている
基本施策 4	在宅療養を支える医療・介護連携の推進

取組の柱(1) 医療・介護連携の推進【重点】

計画書p.62

主な取組①		町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトの推進	
評価	指標	多職種連携研修会開催回数	
		目標値	実績値
	2018年度	2回	2回
	2019年度		2回
	2020年度		2回(見込)
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会」を3回開催し、コロナ禍での医療・介護連携について、協議を行いました。 ・専門職を対象とした多職種連携研修会をオンラインで1回開催し、102名の参加がありました。その他「手洗い」「マスク」「消毒液」「自宅のできるリハビリ」等の動画を作成し、オンライン配信しました。 ・3月には薬の服用や薬剤師の役割をテーマに市民向けの研修を1回開催しました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」における各取組を通して、医療・介護連携を推進します。コロナ禍で在宅療養を支えるための取組についても検討していきます。 		

基本目標 2	支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている
基本施策 5	在宅高齢者とその家族の生活の質の向上

取組の柱(1) 在宅高齢者とその家族への支援の推進

計画書p.65

主な取組①		家族介護者教室・家族介護者交流会の開催		
評価	指標	家族介護者教室・交流会開催数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	教室24回 交流会72回	教室24回 交流会99回	○
	2019年度		教室23回 交流会116回	○
	2020年度		教室24回(見込) 交流会86回(見込)	○
2020年度の具体的な取組・成果	・家族介護者教室を24回、家族介護者交流会を86回開催しました。			
課題および今後の方向性	・引き続き、各高齢者支援センターで家族介護者教室、家族介護者交流会を開催します。			
主な取組②		高齢者あんしんキーホルダー事業		
評価	指標	年度内の新規登録キーホルダー数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	2,800個	2383個	△
	2019年度		1696個	△
	2020年度		1,200個(見込)	△
2020年度の具体的な取組・成果	・自治会・町内会への働きかけや見守り普及啓発講座の開催時に周知を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、周知の機会が減少し、1,200個(見込)の登録にとどまりました。 ・総登録数は、22,363個(見込)です。			
課題および今後の方向性	・引き続き、普及啓発を行い、登録者数の拡大を図ります。			

主な取組① 住宅改修研修会の開催				
評価	指標	住宅改修研修会開催回数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	2回	2回	○
	2019年度		2回	○
	2020年度		2回	○
2020年度の具体的な取組・成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度のケアマネジャー・高齢者支援センター職員及び施工業者向け研修会は、集合形式ではなく書面開催としました。また、住宅改修の手引きを参考とした理解度テストを用いて、受講確認を行いました。			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ケアマネジャー・高齢者支援センター職員及び施工業者に対して、研修会を実施することで、住宅改修制度や身体動作についての理解につなげます。 自立を意識した居住環境改善の支援や審査業務の効率化に向け、研修内容を検討していきます。 			
主な取組② 高齢者住宅対策設備改修給付事業				
評価	指標	利用件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	110件	83件	△
	2019年度		74件	△
	2020年度		76件(見込)	△
2020年度の具体的な取組・成果	・高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、改修費用の一部を76名に対して給付しました。			
課題および今後の方向性	・今後も高齢者の在宅生活の継続のため、住宅改修研修会等を通じて、ケアマネジャー・高齢者支援センター、施工業者に事業の周知を行い、適切な制度利用を推進します。			
主な取組③ 住宅改修アドバイザー派遣事業				
評価	指標	訪問件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	350件	212件	△
	2019年度		228件	△
	2020年度		226件(見込)	△
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 有資格者(建築士、作業療法士、理学療法士)と住宅改修アドバイザーの委託契約を行い、高齢者が住宅改修を行う際に、適正な改修ができるように助言・支援を実施しました。 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、派遣件数が減少した月もありましたが、契約したアドバイザーほぼ全てに派遣の機会があり、ケアマネジャーへの周知と両者の良好な関係づくりが進みました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後の派遣について、ケアマネジャー・高齢者支援センター職員と住宅改修アドバイザーの良好な関係を構築し、住宅改修アドバイザーの利用を促進することで、適正な住宅改修を図る取り組みを続けます。 利用者の在宅継続に向けた環境改善支援を図るため、住宅改修研修会を受講していない施工業者による設備改修工事において、改修内容や費用が適正となるよう、住宅改修アドバイザー派遣の必須化の検討をします。 			

基本目標 3	よりよい介護保険サービスを適切に利用できている
基本施策 6	介護保険サービスの基盤整備

取組の柱(1) 地域密着型サービスの整備促進【重点】

計画書p.69

主な取組①		地域密着型サービスの整備促進		
評価	指標	①定期巡回・随時対応型訪問介護看護 整備数 ②小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 整備数 ③認知症高齢者グループホーム 整備数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度		①— ②2施設54人 整備運営事業者決定 ③2施設36人 整備運営事業者決定	○
	2019年度		①— ②1施設25人整備、1施設29人整備中 ③1施設18人整備、1施設18人整備中、 1施設18人整備運営事業者決定	○
	2020年度	①1施設 整備 ②4施設116人 整備 ③3施設 54人 整備	①1施設 整備 ②2施設54人 整備 ③3施設54人 整備	○
2020年度の具体的な取組・成果		・本計画で整備予定とした8施設のうち、6施設の整備が完了しました。 ・整備運営事業者が決定していない3施設の公募を行い、1施設を選定しました。残り2施設については、再度公募を行いました。事業者から応募はありませんでした。		
課題および今後の方向性		・今後の整備については、高齢化率や利用状況の推移を注視しながら、慎重に検討する必要があります。なお、第8期計画では、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護については、公募期間を限定せず、計画期間中随時、参入希望事業者の応募を受け付けます。また、認知症高齢者グループホームについては、現在の定員数、利用状況、整備率等を総合的に勘案し、新規整備は行わないこととします。		

取組の柱(2) 多様な住まいや施設の確保

計画書p.70

主な取組①		介護保険施設等の整備		
評価	指標	介護老人保健施設 整備数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度		-	○
	2019年度		-	○
	2020年度	29人分 整備	未整備	△
2020年度の具体的な取組・成果		・整備予定とした29人分の整備について、通年で再度公募を行いました。事業者から応募はありませんでした。		
課題および今後の方向性		・サービス量と待機者の動向や実態等を勘案し、今後の整備のあり方を検討します。なお、第8期計画では、新規整備は行わないこととします。		

基本目標 3	よりよい介護保険サービスを適切に利用できている
基本施策 7	介護保険サービスの質の向上と適正化

取組の柱(1) 介護人材の育成、確保、定着【重点】

計画書p.74

主な取組①		介護人材開発事業の強化		
評価	指標	研修参加人数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	1,500人	2,381人	◎
	2019年度		2,090人	◎
	2020年度		1,400人(見込)	○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職面接会、市民向け講習会、介護従事者向け各種研修等を開催しました。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による研修の中止等により、研修参加人数が減少しました。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集合型の研修に替えて、研修動画を作成し、配信したり、電子会議システムを活用して、オンライン研修を実施しました。一部の研修は、定員を減員し、感染対策を行った上で実施しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場は、慢性的な人手不足が続いており、更なる人材の確保、研修の充実が必要です。 ・実技が伴う市民向け研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としましたが、今後、対面でなくとも、実技と同じような効果のある研修の実施を検討します。 			

主な取組②		介護人材バンク機能の確立		
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	拡充	拡充	○
	2019年度		拡充	○
	2020年度		拡充	○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・介護人材バンクの運用(就労相談、マッチング)とともに、市内各市民センター等で出張相談登録会を開催しました。また、多様な担い手の確保にむけて、女性や在住外国人を対象とした事業を実施しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も介護の多様な担い手の確保や育成に向けて、重層的な体制づくりを進めます。 			

主な取組③		多様な担い手の地域活躍推進		
評価	指標	①アクティブシニアの施設就労人数 ②まちいきヘルパーの養成人数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	①40人 ②86人	①60人 ②19人	○
	2019年度	①40人 ②28人(毎年度、まちいきヘルパーの必要数を調査し、目標を設定)	①30人 ②28人	△
	2020年度	①40人 ②25人(毎年度、まちいきヘルパーの必要数を調査し、目標を設定)	①21人 ②28人	○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・生活援助に特化した「まちいきヘルパー」の養成研修を1回実施しました。研修最終日には就労に向けた取組みとして、訪問介護事業者の就職相談会を行いました。今年度は就職相談会について、介護人材バンクによる就労支援の追加するなど見直しを図り、より多くの方が就労につながるよう工夫しました。 ・養成研修受講申込者の拡大に向け、「いきいきポイント制度」登録者向けの通知時にチラシを同封するなど、周知方法を工夫しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの「まちいきヘルパー」養成に向け、引き続き、周知方法等検討していきます。 			

取組の柱(2) 介護保険サービスの品質向上(事業所支援)

計画書p.77

主な取組① 要介護度改善に伴うインセンティブ事業				
評価	指標	要介護度改善者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	150人	121人	△
	2019年度		141人	△
	2020年度		58人(見込)	△
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 市内特別養護老人ホームへ要介護度改善を奨励し、事業所連絡会等で昨年度の交付額の実績を提示するとともに、制度概要を説明し、周知を図りました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、要介護度の変更は行わず、同じ要介護度を1年間延長することが可能になったことから、要介護度改善者数が昨年度より減少しています。 奨励金交付申請施設数は昨年度比1施設増(21施設)となりました(見込)。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の効果検証のため、対象施設に対し2020年度の取組状況等に関するアンケートを実施し、課題を整理の上、適宜改善して取り組みます。 			
主な取組② 介護相談員派遣事業				
評価	指標	派遣事業所数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	35事業所	35事業所	○
	2019年度	36事業所	48事業所	◎
	2020年度	36事業所	1事業所(見込)	○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、派遣先事業所が面会制限をしており、例年通り事業を行うことが出来ませんでした。 11月から感染予防対策を講じた上で、1事業所への派遣を再開することが出来ました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 派遣先事業所との連携を密にとり、今後の事業運営再開手法等を検討していきます。 			
主な取組③ 福祉サービス第三者評価受審助成等事業				
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度		継続	○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者グループホームを運営する事業所に受審費の補助を行いました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス第三者評価を受審する必要性の高い事業所に対して受審費補助を行います。また、市民への情報提供の拡充、市内の介護保険サービス事業所への福祉サービス第三者評価の受審促進を図ります。 			
主な取組④ 相談援助研修				
評価	指標	相談援助研修修了者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	初任30人 上級50人	初任50人 上級54人	◎
	2019年度		初任68人 上級58人	◎
	2020年度		初任43人 上級38人(見込)	○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 介護人材開発センターと共催し、ケアマネジャー向けに相談援助研修として、初任編(全3日間)と上級編(全5日間)の研修を開催しました。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初任編・上級編共にオンラインで開催しました。2019年度と比較し修了者数は減少しましたが、オンライン会議アプリの機能を活用しグループワークを行う等、これまでの集合研修と同様に効果的な研修を実施することができました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 研修会は、主任ケアマネジャーの推薦要件として町田市では定めており、引き続きケアマネジメントの質の向上を図るため、開催します。 毎年度、研修内容を見直し、より充実した内容の研修を実施します。 			

取組の柱(3) 適切な介護保険サービスの利用の推進

主な取組① 介護保険サービスの適正化事業の推進				
評価	指標	ケアマネジメント勉強会実施事業所数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	60事業所	73事業所	◎
	2019年度		62事業所	○
	2020年度		50事業所(見込)	○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市で8事業所、高齢者支援センターで42事業所に対して、ケアマネジメント勉強会を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、勉強会を中止したことにより、前年度と比べて実施事業所数が減少しました。 ・各圏域で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン及び書面にて勉強会を開催しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な介護サービスを提供するケアプラン作成の支援のために、今後も勉強会を継続します。 ・国保連合会から提供される介護給付適正化関連システムや、給付実績を基にした情報等を活用し、ケアプラン点検対象事業所の選定を行います。 			

主な取組② 認定調査員への支援				
評価	指標	認定調査員研修開催回数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	9回	9回	○
	2019年度		9回	○
	2020年度		11回(見込)	○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・認定調査員新規研修(年3回)を実施し、認定調査での聞き取り項目について、定義の解説や認定審査会の見学を行いました。また、昨年度より実施回数を1回増やし、感染症拡大防止の観点から分散受講できるようにしました。 ・認定調査員出張研修(年6回)を実施し、既に調査をしている方を対象に、調査方法や関連知識のフォローアップを行いました。なお、新規研修の増回に伴い、実施回数を1回増やしました。 ・認定調査員現任研修(年2回)をリモートで実施し、既に調査をしている方を対象に、1つの聞き取り項目に焦点を当て、知識を深めました。また、市内居宅事業所の認定調査員に幅広く受講してもらえよう、昼・夜間にそれぞれ同内容の研修を実施しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する認定申請に対応するため、認定調査員のさらなる増員を図るとともに、フォローアップを強化します。 			

主な取組③ 介護保険事業者に対する指導・助言				
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度		継続	○
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業者に対して実地指導を行い、適正な事業運営とサービスの質の向上について指導・助言を行いました。実施に当たり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から指導対象の見直しを行い、あわせて検査時間の短縮、マスク着用・検温等の感染症対策を徹底しました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Web会議システムを活用して居宅介護支援事業者に対する集団指導を行い、実地指導で指摘の多い事例とその改善方法、遵守すべき基準等について具体例を示して指導しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して適切なサービスが提供されているか確認するために今後も感染症拡大防止に留意しつつ実地指導を継続していきます。実地指導を行う場合は感染症対策を徹底の上、利用者や介護従事者の安全性、事業所の状況等にできる限り配慮します。 			

主な取組④		介護保険制度の周知		
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度	↓	継続	○
2020年度の具体的な取組・成果	<p>・広報まちだや、町田市ホームページに介護保険の各種情報を掲載(制度改正によるホームページの更新を1件実施。FAQの修正を10件、新規追加を1件実施。)したほか、介護情報誌「ハートページ」を配布(12,000部)しました。また、資格取得者(65歳到達者、転入者等)へ介護保険被保険者証を送付する際、「介護保険のしおり」を同封し周知を図りました。</p>			
課題および今後の方向性	<p>・適正な介護保険サービスの利用が受けられるよう市からの周知だけでなく、介護支援専門員等の介護サービス事業者と連携して継続的に制度周知に努めていく必要があります。</p> <p>・サービスを受けていない方への制度周知について、ホームページ等を活用した広報活動が必要です。</p> <p>・資格取得者へ介護保険被保険者証を送付する際に、介護保険のしおりを同封し、介護保険制度の周知を図ります。</p> <p>・「制度改正パンフレット」を4月に発行予定です。</p> <p>・第8期町田市介護保険事業計画を反映した、「介護保険のしおり」を作成し、7月に送付する介護保険料決定通知書(約11万通)に同封予定です。</p>			